

令和3年度

津別町教育委員会
点検・評価報告書

令和4年8月

津別町教育委員会

教育委員会の主な事務の管理・執行状況の点検・評価並びに 町議会への報告と町民への公表について

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（以下「地教行法」という。）の一部改正により、平成20年4月より、全ての教育委員会は、毎年その権限に属する事務の管理及び執行状況について点検評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに公表しなければならないとされました。

点検及び評価を行うに当たっては、「教育に関する学識経験者を有する方の知見の活用を図る」とのものとされ、点検・評価の具体的な項目や指標については、国で項目等は定めず、各教育委員会が実情を踏まえて決定し、議会や地域住民の指摘を受けて改善していくこととなります。

津別町教育委員会は、地教行法に基づき効果的な教育行政の推進を図るとともに、町民の皆さまへの説明責任を果たすため、教育目標に基づく主な施策・事業について点検評価を行い報告書としてまとめましたので、皆様の一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

令和4年8月

津別町教育委員会

目 次

教育委員会

- 1 教育委員会 1
 - (1) 教育長・教育委員名
 - (2) 委員会開催状況
 - (3) 条例・規則等の制定状況
 - (4) 委員の活動状況

学校教育

- 2 令和3年度予算の状況 7
 - (1) 学校教育関係費

- 3 学校教育の推進 7
 - (1) 小・中学校教育の推進
 - ① 学習補助員の配置
 - ② 就学援助費
 - ③ 特別支援教育就学奨励補助事業
 - ④ 教材・備品購入経費事業
 - ⑤ 語学指導助手事業
 - ⑥ 全国学力・学習状況調査
 - ⑦ 全国体力・運動能力、運動習慣等調査
 - ⑧ 木育授業
 - ⑨ 学校保健事業
 - (2) 高等学校教育の推進 1 1
 - ① 津別高等学校振興対策事業
 - ② 津別高等学校地域別入学者状況
 - ③ 奨学金貸与状況
 - (3) 学校給食の推進 1 3
 - ① 学校給食センター運営委員会
 - ② 学校給食センター事業
 - ③ オール津別食材による給食提供

社会教育

- 4 令和3年度予算の状況 1 4
 - (1) 社会教育関係費

- 5 社会教育の推進 1 4
 - (1) 社会教育・体育事業
 - ① 社会教育委員研修事業
 - ② 家庭教育事業
 - ③ 少年期事業
 - ④ 青年期事業
 - ⑤ 成年期事業

⑥	スポーツ推進委員研修事業	
⑦	各種大会事業	
⑧	スポーツ教室・講習会事業	
6	図書事業の推進	2 0
	(1) 図書事業	
	① 図書事業	
7	芸術文化の推進	2 1
	(1) 芸術文化事業	
	① 芸術文化事業	
8	児童館の推進	2 2
	(1) 児童館運営	
	① 児童一般利用状況	
9	放課後児童健全育成事業	2 3
	(1) 放課後児童クラブの状況	
	① 放課後児童クラブ登録状況	
	② 放課後児童クラブ利用状況	
	③ 放課後子ども教室登録状況	
1 0	体育施設管理の推進	2 4
	(1) 体育施設管理事業	
	① 体育施設営繕関係	
	② 体育施設管理委託関係	
1 1	スポーツ合宿実績	2 5
	学識経験者意見	2 6

教育委員会

1 教育委員会

(1) 教育長・教育委員名

職名	氏名	選任年月日	住所	備考
教育長	宮管 玲	平成28年 4月 1日	豊永33-37	
代表委員 (職務代理者)	松平 範慶	平成17年10月 1日	緑町8	
委員	松田 真理	平成20年 9月21日	豊永64-45	
委員	金田 美喜恵	平成26年11月10日	活汲136	
委員	鈴木 健二	令和 2年10月 1日	木樋59-3	

(2) 委員会開催状況

期日	出席 委員数	付議案件等
R3.4.19	4	<p>報告・教育長の報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・寄附・寄贈品の報告 ・学校行事の状況について ・津別町学校教育に関する事務処理要領の一部を改正する要領の制定について ・修学旅行の引率業務に従事する津別町立学校職員の勤務時間の割り振り等に関する要領の一部を改正する要領の制定について <p>議案・津別町奨学審査委員会委員の委嘱について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・津別町教育支援委員会委員の委嘱について ・津別町社会教育委員の委嘱について ・津別町スポーツ推進委員の解職について ・津別町立学校学校歯科医の委嘱について ・令和2年度津別町要保護・準要保護児童生徒の認定及び就学援助費の扶助に関する世帯の認定について ・津別町いじめ防止基本方針について ・津別町立学校管理規則の一部改正する規則の制定について ・津別町立学校職員服務規程の一部を改正する規程の制定について <p>その他・公設民営塾の状況について</p>

期 日	出 席 委員数	付 議 案 件 等
R3. 5. 25	4	<p>報 告・教育長の報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学校施設のボランティアについて ・ 北海道の緊急事態宣言に伴う学校活動の対応について ・ 青少年交流事業の中止について ・ 成人式について <p>議 案・令和3年度津別町の奨学生の認定について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 津別町教育支援委員会の委嘱について ・ 津別町学校給食センター運営委員会の委嘱について ・ 令和3年度津別町要保護・準要保護児童生徒の認定及び就学援助費の扶助に関する世帯の認定について ・ 津別町大学生等応援事業実施要綱の一部を改正する要綱の制定について <p>その他・公設民営塾の状況について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 令和3年度 津別町の社会教育について
R3. 6. 30	4	<p>報 告・教育長の報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 寄附・寄贈品の報告 ・ 令和3年度津別町特別支援教育就学奨励費補助について ・ 社会教育施設の状況について ・ 給食費の口座振替の状況について <p>その他・公設民営塾について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新型コロナウイルスワクチン接種について
R3. 7. 27	4	<p>報 告・教育長の報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 寄附・寄贈の報告 ・ 学校給食センター運営委員会議の報告について ・ 補正予算（専決処分）について <p>諮 問・津別町文化賞・スポーツ賞の顕彰者の諮問について</p> <p>協 議・給食費の口座振替について</p> <p>その他・令和3年度津別町の教育について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 公設民営塾の状況について
R3. 8. 24	4	<p>報 告・教育長の報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 寄附・寄贈品の報告 ・ 学校行事について ・ 津別町交通安全プログラムの策定について ・ 給食費の口座振替の状況について

期 日	出 席 委員数	付 議 案 件 等
		<p>議 案・津別町社会教育委員条例の一部を改正する条例の制定について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・津別町通学路安全推進会議設置要綱の制定について ・社会教育委員の委嘱について ・津別町図書館建設検討委員の委嘱について ・津別町学校運営協議会委員の委嘱について ・令和4年度使用小学校教科書用図書の採択について ・令和4年度使用小学校特別支援学級教科用図書（一般図書）の採択について ・令和4年度使用中学校教科用図書の採択について ・令和4年度使用中学校特別支援学校教材用図書（一般図書）の採択について ・令和2年度津別町教育委員会の点検・評価について <p>その他・津別小学校旧校舎長寿命化改修工事について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公設民営塾の状況について ・9月定例議会の補正について
R3.9.27	4	<p>報 告・教育長の報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・寄附・寄贈の報告 ・令和2年度津別町教育委員会の点検・評価報告について ・令和3年度全国学力学習調査の結果報告について ・修学旅行について ・つべつ紅葉マラソン大会の参加状況について ・学校給食の口座振替状況について <p>議 案・教育長職務代理者の指名について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度津別町文化賞・スポーツ賞の顕彰について ・津別町教育委員会顕彰について ・令和3年度津別町要保護・準要保護児童生徒の認定及び就学援助費の扶助に関する世帯の認定について <p>その他・9月定例議会の補正について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公設民営塾の状況について ・オール津別給食について
R3.10.28	4	<p>報 告・教育長の報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校施設のボランティアについて ・つべつ紅葉マラソン大会～特別大会～の実施結果について <p>諮 問・心身に障がいをもつ児童生徒の教育支援に係る諮問について</p> <p>協 議・施設の廃止について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合教育会議の開催について <p>その他・令和4年度主要事業について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公設民営塾の状況について ・オール津別産給食の試食について ・津別小学校旧校舎長寿命化改修工事【現地視察】

期 日	出 席 委員数	付 議 案 件 等
R3.11.29	4	<p>報 告・教育長の報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会体育施設のボランティアについて ・語学指導助手について <p>議 案・令和3年度津別町要保護・準要保護児童生徒の認定及び就学援助費の扶助に関する世帯の認定について</p> <p>協 議・津別町総合教育会議について</p> <p>その他・12月定例議会の補正について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公設民営塾の状況について
R3.12.24	4	<p>報 告・教育長の報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・寄附・寄贈品の報告 <p>協 議・令和3年度津別町特別支援教育就学奨励費補助について</p>
R4.1.28	4	<p>報 告・教育長の報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・寄附・寄贈品の報告 ・図書館建設検討委員会の進捗状況について <p>議 案・令和4年度心身に障がいをもつ児童生徒の就学について</p> <p>協 議・令和4年度教育行政方針（素案）について</p> <p>その他・公設民営塾の状況について</p>
R4.2.21	4	<p>報 告・教育長の報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・津別中学校・二水国民中學校交流事業について ・学校給食に対するアンケート結果について <p>議 案・令和4年度教育行政方針の決定について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・津別町教職員職員住宅管理規則の一部を改正する規則の制定について ・津別町コミュニティ・スクール準備委員会の設置要綱を廃止する要綱の制定について ・令和3年度津別町要保護・準要保護児童生徒の認定及び就学援助費の扶助に関する認定について ・教職員（管理職）の人事異動について <p>協 議・津別町体育施設の設置及び管理に関する条例等の一部改正について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・着任式の日程について <p>その他・公設民営塾について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・津別高校の入学出願状況について ・新年度予算の概要について ・3月定例議会補正予算について

期 日	出 席 委員数	付 議 案 件 等
R4. 3. 24	4	<p>報 告・教育長の報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育長の任命について ・教職員（一般職）の人事異動について ・寄附・寄贈について <p>議 案・津別町体育施設の設置及び管理に関する条例施行規則の一部を改正する規則制定について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・津別町教育長の服務に関する条例施行規則の一部を改正する規則の制定について ・津別町教育委員会事務執行規程の一部を改正する規程の制定について <p>その他・社会体育施設の開設予定について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度津別高校の入学予定について ・公設民営塾について
開催概要		<ul style="list-style-type: none"> ・津別町教育委員会議は公開としており、原則として毎月1回開催している。内容としては、「地方教育行政の組織運営に関する法律」及び「教育委員会事務委任規則」、「津別町教育委員会会議規則」に基づき審議を行った。

（３）条例・規則等の制定状況

番 号	題 名	公布月日	施行月日	
規 則	第 1 号	・津別町教職員住宅管理規則の一部を改正する規則	R3. 3. 25	R3. 4. 1
	第 2 号	・津別町立学校管理規則の一部を改正する規則	R3. 4. 19	R3. 4. 19
訓 令	第 1 号	・津別町学校給食に関する業務処理要領の一部を改正する要領	R3. 4. 6	R3. 4. 6
	第 2 号	・修学旅行の引率業務等に従事する津別町立学校職員の勤務時間の割振り等に関する要領の一部を改正する要領	R3. 4. 16	R3. 4. 16
	第 3 号	・津別町立学校教職員含む規程の一部を改正する規程	R3. 4. 19	R3. 4. 19
告 示	第 1 号	・第 1 回 津別町教育委員会議の招集について	R3. 1. 22	R3. 1. 27
	第 2 号	・第 2 回 津別町教育委員会議の招集について	R3. 2. 12	R3. 2. 17
	第 3 号	・第 3 回 津別町教育委員会議の招集について	R3. 3. 9	R3. 3. 12

番 号	題 名	公布月日	施行月日
告 示	第 4 号	・ 第 4 回 津別町教育委員会議の招集について	R3. 3. 22 R3. 3. 25
	第 5 号	・ 第 5 回 津別町教育委員会議の招集について	R3. 4. 14 R3. 4. 19
	第 6 号	・ 第 6 回 津別町教育委員会議の招集について	R3. 5. 20 R3. 5. 25
	第 7 号	・ 津別町大学生等応援事業実施要綱の一部を改正する要綱	R3. 5. 25 R3. 5. 25
	第 8 号	・ 第 7 回 津別町教育委員会議の招集について	R3. 6. 25 R3. 6. 30
	第 9 号	・ 第 8 回 津別町教育委員会議の招集について	R3. 7. 21 R3. 7. 21
	第 1 0 号	・ 第 9 回 津別町教育委員会議の招集について	R3. 8. 19 R3. 8. 24
	第 1 1 号	・ 津別町通学路安全推進会議設置要綱	R3. 8. 24 R3. 8. 24
	第 1 2 号	・ 第 10 回 津別町教育委員会議の招集について	R3. 9. 22 R3. 9. 27
	第 1 3 号	・ 第 11 回 津別町教育委員会議の招集について	R3. 10. 22 R3. 10. 28
	第 1 4 号	・ 第 12 回 津別町教育委員会議の招集について	R3. 11. 22 R3. 11. 29
	第 1 5 号	・ 第 13 回 津別町教育委員会議の招集について	R3. 12. 20 R3. 12. 24

(4) 委員の活動状況

教育委員会議以外の活動状況（教育長を除く）

日 付	活 動 内 容	委 員 名
R3. 4. 2	教職員着任式	松平代表委員 松田委員 鈴木委員
R3. 11. 29	総合教育会議	松平代表委員 松田委員 金田委員 鈴木委員
R4. 1. 9	成人式	松平代表委員 松田委員 金田委員 鈴木委員

学校教育

2 令和3年度予算の状況

(1) 学校教育関係費

(単位：千円)

項目	令和3年度	令和2年度	増減	構成比(%)
教育総務費	178,576	164,641	13,935	33.9
教育委員会費	2,057	2,029	28	
事務局費	126,545	108,417	18,128	
義務教振興費	4,448	4,170	278	
語学指導助手 招致事業費	5,881	5,431	450	
スクールバス 運行費	39,645	44,594	△4,949	
小学校費	277,198	77,776	199,422	52.6
学校管理費	252,034	55,081	196,953	
教育振興費	25,164	22,695	2,469	
中学校費	33,445	36,519	△3,074	6.3
学校管理費	19,930	28,565	△8,635	
教育振興費	13,515	7,954	5,561	
保健体育費	37,734	48,987	△11,253	7.2
学校保健費	3,061	3,092	△31	
学校給食費	34,673	45,895	△11,222	
合計	526,953	327,923	199,030	100

3 学校教育の推進

(1) 小・中学校教育の推進

① 学習補助員の配置（継続事業）

10,070千円

事業目的	・各小中学校では、特別支援学級及び通常学級に在籍している児童生徒の中で、特に支援が必要な児童生徒が増加する傾向にあり、個に応じた支援体制により基礎・基本の学習の定着を図る。
事業概要	・学習・生活支援員の配置を行い個に応じた支援体制を整備する。 津別小学校 (H16年度1名、H17～25年度まで2名、H26～27年度3名、H28年度4名、H29年度5名、H30年度6名、R1年度上半期6名・下半期7名、R2年度9名体制、R3年度上半期8名・下半期7名) 津別中学校 (H24～25年度2名、H26～27年度3名、H28年度2名、H29～R2年度1名、R3年度2名)
成果と課題	・特別支援学級の児童生徒や支援が必要な児童生徒へ、学習補助員の指導補助により、教員のみでは不可能な細かい指導が可能となっているが、児童生徒の障害が多岐にわたっていることから、教員・学習補助員の負担が増えている。

② 就学援助費（継続事業）

3, 836千円

事業目的	・経済的理由等によって就学困難と認められる児童生徒の保護者に必要な援助を行い義務教育の機会均等を図る。						
事業概要	区分	援助品名	小学校		中学校		
	学用品費	文房具等	23人	260,715	13人	276,550	
	通学用品費	靴・傘等	18人	38,190	10人	20,810	
	新入学用品費 (今年度入学事前未給付者分)	カバン・制服等	1人	51,060	—	—	
	新入学用品費 (次年度入学者分)		小学校 新1年 5人	270,300	—	—	
			中学校 新1年 4人	240,000			
	要保護・準要保護児童生徒援助費	校外活動費	交通費や見学科	5人	7,350	8人	13,807
		修学旅行費	旅行経費	4人	90,084	4人	258,420
		通学費	ことばの教室等	—	—	—	—
		体育実技用具	体育実技用具等	6人	159,000	3人	114,090
		学校病医療費	政令で定める疾病	—	—	—	—
		給食費	給食代	23人	1,057,920	13人	656,604
		P T A会費	P T A会費	18世帯	53,600	11世帯	41,275
		クラブ活動費	部活動費	—	—	11人	216,082
	生徒会費	生徒会費	—	—	13人	9,738	
	合計			2,228,219		1,607,376	
成果と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者へ制度周知を図り随時申請を受け付け円滑に認定審査に努め必要な援助支援を行った。 ・学校長から意見を聞き判定しているが、生活状況の把握が難しい現状にあるため、福祉等関係機関と連携を深め適切な認定に努める。 						

③ 特別支援教育就学奨励補助事業（継続事業）

1, 693千円

事業目的	・津別町立小学校及び中学校の特別支援学級に在籍している児童生徒の保護者に対し、就学奨励補助を行うことにより、特別支援教育の推進を図り、児童生徒の教育機会の均等を保障し、義務教育の円滑な実施に資することを目的に、平成22年度より継続している。
事業概要	・就学奨励補助として、学用品費、通学費、修学旅行費、体育実技用具費、新入学児童生徒学用品費、学校給食費について、毎年度国が定める国庫補助単価額と、学校及び教育委員会が徴収する額の1/2を保護者へ補助する。小学校費1,087千円、中学校費606千円
成果と課題	・特別支援学級の児童生徒の教育機会の均等が保障されるとともに、保護者の負担軽減が図られている。

④教材・備品購入経費事業

8,630千円

事業目的	・小中学校の教材・備品等の整備充実を図る。
事業概要	・小学校指定教材等備品 45千円、教材消耗品 1,090千円、情報教材 4,941千円、理科教材 132千円 ・中学校指定教材等備品 189千円、教材消耗品 2,080千円、情報教材 153千円
成果と課題	・各教科の教材を整備し学習環境の整備・充実が図られた。 ・令和2年度から引き続きGIGAスクール構想によるICT機器等を整備し、活用が始まっている。今後は、より充実した活用方法等を検討していく必要がある。

⑤語学指導助手事業（継続事業）

4,367千円

事業の目的	・自治体国際化協会（CLAIR）を通して英語指導助手1名を招致し、児童生徒の英語力の向上、英会話を通してコミュニケーション能力や国際理解教育の推進を図る。
事業概要	・講師：ハラノ・スコット・クリストファー（アメリカ）H30.8～R3.8 デー・アレックス・マイケル（アメリカ）R3.10～ ・内容：小学校での外国語活動教育及び国際理解教育、中・高校の英語科授業及び国際理解教育等
成果と課題	・年度当初に各学校等と打ち合わせを行い、各学校等に派遣を実施。平成28年度から認定こども園での活動も加え、今後も小・中・高校と連携を図りながら効果的な学習活動の補助が必要である。

⑥全国学力・学習状況調査（継続事業）

事業の目的	・全国的な義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、各学校が児童生徒の学力や学習状況をきめ細かく把握分析し、児童生徒への教育指導や学習状況の改善等を図る。 ・平成19年度より継続実施。（令和2年度のみ、新型コロナウイルス感染症感染拡大により中止）
事業概要	・実施日時 5月27日（木） ・対象学年及び科目 小学6年生 国語・算数 中学3年生 国語・数学
成果と課題	・各学校で本調査の分析を行い領域別に課題を把握し、授業に対する考え方及び教材研究、研修体制の強化につながっている。

⑦全国体力・運動能力、運動習慣等調査（継続事業）

事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの体力・運動能力等の状況に鑑み、国が全国的な子どもの体力・運動能力の状況を把握・分析することにより、子どもの体力・運動能力の向上に係る施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。 ・平成20年度より継続実施。（令和2年度のみ新型コロナウイルス感染症感染拡大により中止）
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・実施期間 4月から7月末まで ・対象学年 小学生 第5学年 中学生 第2学年の原則全児童生徒
成果と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・各学校において本調査結果の分析に基づき、課題等を踏まえて保健体育授業の改善に繋げ、適切な個別指導を行うことができる。

⑧木育授業（継続事業）

743千円

事業目的	<ul style="list-style-type: none"> ・津別町は木の町であり、木育については町の特性を生かす必要な教育と捉え、木の町に生まれ育った子どもたちが木に対する認識を新たにし、木や自然に対する親しみや、木の文化に対する理解を深めることによって、自然やふるさとを大切にすることを養う。
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・木育授業の対象学年は小学校3年生及び5年生と中学校1年生を対象としている。講師は札幌在住の煙山泰子氏を小学校、東京在住の中井秀樹氏が中学校を担当し、木のタマゴづくりや木のおもちゃづくりをしながら、木とふれあい、木に学び、木と生きる授業を実施している。令和3年度の中学校木育については、昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、東京から講師招聘せず、リモート形式で授業を行った。
成果と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒の木材に対する親しみや木の文化への理解を深め、人と木や森との関わりを主体的に考えられる豊かな心を育み、地球温暖化の防止や環境問題への意識を高めた。

⑨学校保健事業（継続事業）

1,367千円

検査項目	対象児童生徒	検査項目	対象児童生徒
内科検診 結核検診	全児童生徒	心臓検診(心電図)	小1・中1年生
歯科検診	全児童生徒	尿検査	全児童生徒
耳鼻科検診	小3・中1年生		
眼科検診(視力検査)	小1～小3年生	その他の学年：気になる児童生徒	
成果と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒の健康診断により、疾病の予防措置を行い、また治療を指示することができる。 ・各検診結果に基づき児童生徒の発育や健康状態を正しく把握し、日常生活を含めた保健指導や相談業務の対応を図る。 		

(2) 高等学校教育の推進

①津別高等学校振興対策事業

32,034千円

事業目的	北海道津別高等学校振興対策事業																																
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・平成8年より、地元唯一の高校の存続と特色ある教育活動のため、津別町振興対策協議会に対し支援を継続している。 ・バス通学費補助、校納金・教科書等の補助を実施。 ・平成28年度より国公立大学入学一時金と制服購入費助成を行なう。 ・平成29年度より新たに公設民営塾による無料講習会を長期休業期間において実施し、令和元年9月より通年化を実施。 ・令和2年5月より役場庁舎移転に伴い、議会議事堂から旧社会福祉協議会に移転。 ・令和3年度支援事業は、下記のとおり <table border="1" data-bbox="464 734 1412 1496" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">区 分</th> <th style="width: 20%;">金額(千円)</th> <th style="width: 50%;">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>海外研修</td> <td style="text-align: right;">0</td> <td>新型コロナウイルス感染症感染拡大に伴い中止</td> </tr> <tr> <td>通学費補助</td> <td style="text-align: right;">3,787</td> <td>H8年度より実施</td> </tr> <tr> <td>校納金</td> <td style="text-align: right;">220</td> <td>H16年度より実施</td> </tr> <tr> <td>教科書等</td> <td style="text-align: right;">866</td> <td>H16年度より実施</td> </tr> <tr> <td>大学入学一時金</td> <td style="text-align: right;">300</td> <td>H28年度より実施</td> </tr> <tr> <td>制服購入費助成</td> <td style="text-align: right;">585</td> <td>H28年度より実施</td> </tr> <tr> <td>振興対策協議会</td> <td style="text-align: right;">3,500</td> <td>特別講座事業、中高連携事業 地域連携事業、調査研究事業</td> </tr> <tr> <td>公設民営塾</td> <td style="text-align: right;">22,227</td> <td>H29年度より長期休業中の講習会実施、R元年9月より通年化実施。(備品購入費含む)</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td style="text-align: right;">31,485</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			区 分	金額(千円)	備考	海外研修	0	新型コロナウイルス感染症感染拡大に伴い中止	通学費補助	3,787	H8年度より実施	校納金	220	H16年度より実施	教科書等	866	H16年度より実施	大学入学一時金	300	H28年度より実施	制服購入費助成	585	H28年度より実施	振興対策協議会	3,500	特別講座事業、中高連携事業 地域連携事業、調査研究事業	公設民営塾	22,227	H29年度より長期休業中の講習会実施、R元年9月より通年化実施。(備品購入費含む)	合 計	31,485	
区 分	金額(千円)	備考																															
海外研修	0	新型コロナウイルス感染症感染拡大に伴い中止																															
通学費補助	3,787	H8年度より実施																															
校納金	220	H16年度より実施																															
教科書等	866	H16年度より実施																															
大学入学一時金	300	H28年度より実施																															
制服購入費助成	585	H28年度より実施																															
振興対策協議会	3,500	特別講座事業、中高連携事業 地域連携事業、調査研究事業																															
公設民営塾	22,227	H29年度より長期休業中の講習会実施、R元年9月より通年化実施。(備品購入費含む)																															
合 計	31,485																																
成果と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・町内中卒者数の減少等から平成23年度より一間口となり、平成24年度から地域キャンパス校となった。 ・振興対策協議会や町の支援と合わせて、平成20年度(平成24年度を除く)以降毎年国公立大学合格者を輩出するなど、その取組みは近隣の中学校や保護者にも認知されてきた。 ・今後も生徒確保には厳しい状況が続くが、津別高校の存続に向けて振興対策協議会への支援を継続するとともに、入学者確保に向け、令和元年9月より実施した公設民営塾の通年化を引き続き継続するとともに、新たな取り組みについて検討する必要がある。 																																

②津別高等学校地域別入学者状況

年 度	町内中卒者数	津別町	北見市	美幌町	他市町	入学者	入学者 地元率
2 1	5 9	3 4	1 8	4	0	5 6	60.7%
2 2	6 2	2 8	1 3	0	0	4 1	68.3%
2 3	5 3	2 0	7	3	0	3 0	66.7%
2 4	5 1	2 5	6	0	1	3 2	78.1%
2 5	5 3	1 5	2	0	1	1 8	83.3%
2 6	4 1	2 2	3	2	0	2 7	81.5%
2 7	4 0	1 1	5	8	1	2 5	44.0%
2 8	4 9	2 0	4	1 1	0	3 5	57.1%
2 9	2 8	1 9	6	7	0	3 2	59.4%
3 0	3 2	1 7	1 3	1 0	0	4 0	42.5%
元	2 8	6	7	2	0	1 5	40.0%
2	1 4	3	6	2	0	1 1	27.3%
3	2 8	1 1	5	6	0	2 2	50.0%

③奨学金貸与状況

貸与件数	貸与金額	貸与内訳	償還件数	償還金額
1 2 件	3, 3 4 5 千円	高校生 1 人 専門学校生 2 人 大学生 9 人	2 1 件	2, 2 4 0 千円
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・教育機会の均等と教育の振興を図るため奨学金を貸与する。 ・令和3年度は、新規4名及び継続8名、合計12名の貸与を決定。 ・専修学校、高等専門学校(4~5年)、大学以上の学生に月額2万5千円 ・高等学校、高等専門学校(1~3年)の学生に月額1万円 ・返還期間は学校卒業翌年から10年以内に返還しなければならない 			
成果と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・例年貸付件数は同等で推移していることから、特に大学進学に際しては有効なものとなっている。 ・近年、奨学金返済が生活を圧迫することから大学進学を諦める例も発生しており、給付型の奨学金制度の検討や、若者の地元定着を後押しする観点から地元で就職した場合の償還免除などの検討が必要であり、貸与金額の上限額についても経済・社会情勢・基金状況等を踏まえ、学生が安心して学べる額なのか精査する必要がある。 			

(3) 学校給食の推進

①学校給食センター運営委員会

10千円

期 日	出席委員数	付 議 案 件 等
R3. 7. 16	6	議案：令和2年度学校給食実績について 他2件 報告：給食費の銀行口座振替状況について 他1件
委員会概要	・本委員会は、給食センターの適正かつ円滑な運営を図るため学校給食の基本的な事項及び給食センターの運営等について協議を行う。	

②学校給食センター事業

46,508千円

事業目的	・安全で安心な学校給食の提供により、児童生徒の身体に必要な栄養を摂取し、あわせて日常生活における正しい食事等を身に付けさせるため学校給食を実施する。
事業概要	・給食費：小学生240円、中学生276円（平成21年度改定） 高校生237円（平成26年度開始） ・令和2年度給食提供数：377名（児童生徒313名・教職員等64名） ・給食主食の種類別週回数：米飯（3回）、麺類（1回）、パン（1回） ・オーガニック牛乳の供給：平成21年度より週1回提供
成果と課題	・現施設は、昭和53年度の建設であり、施設改築が課題となっている。施設改築までの間は、調理機器等の維持管理に努め、安全な給食提供を継続している。

③オール津別食材による給食提供（上記②の内数）

169千円

事業目的	・全て地場産物の食材を使用することにより、子供たちが津別の食材及び学校給食に興味を持ち、郷土を愛する心の育成に寄与する。
事業概要	・各主食（米、パン、麺）1回の計3回でオール津別産食材給食を提供 11月24日 スライスパン、かぼちやのシチュー、サンマルコロッケ（牛肉コロッケ）、オーガニック牛乳 11月26日 牛丼、豆腐の味噌汁、白菜のごま和え、オーガニック牛乳 11月29日 野菜うどん、サンマルコ春巻、ヤーコンのマヨ和え、オーガニック牛乳
成果と課題	・給食センター発行の「食育だより」によりオール津別食材によるメニューを紹介し地産地消への理解や生産者に対する感謝の気持ちを学ぶ良い機会となった。今後も引き続き、地元の旬を迎えた食材用いて食育の推進を図る。

社会教育

4 令和3年度予算の状況

(1) 社会教育関係費

(単位：千円)

項目	令和3年度	令和2年度	増減	構成比(%)
社会教育費	160,294	173,198	△12,904	51.1
社教総務費	82,138	55,570	26,568	
社教振興費	27,694	43,326	△15,632	
会館管理費	50,462	82,423	△31,961	
保健体育費	153,697	117,727	35,970	48.9
保体総務費	10,865	12,899	△2,034	
体育施設費	142,832	137,901	4,931	
合計	313,991	290,925	23,066	100.0

5 社会教育の推進

(1) 社会教育・体育事業

① 社会教育委員研修事業

事業名	実施時期	主催団体	事業概要
北見・斜網地区 社会教育委員研修会	R3.10.17	北見・斜網地区 社会教育委員 連絡協議会	<ul style="list-style-type: none"> 全体テーマ「地域づくりにおける社会教育」 基調講演「コロナ禍における社会教育の役割」講師：北翔大学非常勤講師・NPO法人まおい学びのさと理事 谷川松芳氏 事例発表「コロナ禍における学びを止めないための取り組み」①美幌町観光まちづくり協議会②NPO法人森のこだま
オホーツク管内 社会教育振興セミナー	R3.11.21	管内社会教育 委員連絡協議 会	<ul style="list-style-type: none"> 基調講演「生きることはたべること」講師：置戸町教育委員会食のアドバイザー 佐々木十美氏 事例紹介①楽し～な②公民館サロン
成果と課題	・コロナ禍での社会教育の在り方について情報共有を図ることができた。		

②家庭教育事業

事業名	実施時期	主催団体	事業概要
家庭教育学級「ちびっこクラブ」	R3.4～R4.3	教育委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・就園前の子育て中の親が集い、子育て勉強会や運動教室など自主企画をして運営する学級 ・クラブ会員15組
家庭教育講座	R4.2.24	教育委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・読み聞かせ「二胡コンサート」 講師：福本ゆめ氏
成果と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児のマスクの着用が難しい中、コロナ禍において感染対策を取りながらも子育て中の親たちの顔合わせや交流を深めることができた。 ・親子のコミュニケーションの構築と生活課題の解決に向けて、親子で学べる講座の充実を図る。 		

③少年期事業

事業名	実施時期	主催団体	事業概要
放課後児童クラブ	通年	教育委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・留守家庭等の児童の放課後や土曜日などの居場所づくり ・38名登録
放課後子ども教室 (子どもの居場所確保)	通年	教育委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・放課後や土曜日などに子どもの居場所を設け、学習、体験、交流等をする事業 ・65名登録
放課後子ども教室 (体験事業)	通年	教育委員会 役場林政係 JAつべつ	<ul style="list-style-type: none"> ・土日や長期休日を活用して自然、文化、スポーツ、農業などの体験を中心とした事業 ・全23回、52名登録 延べ470名参加
船橋市・南アルプス市青少年交流事業(受入)	中止	船橋市青少年交流団・南アルプス市青少年交流実行委員	※新型コロナウイルス感染拡大防止のため
成果と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍において登録者のみと利用制限を行い運営した。基本的な対策を講じ、保護者の理解も図りながら、安心・安全な放課後や休日の子どもの居場所を設けることができた。 ・宿泊体験事業は実施できなかったが、子どもたちの成長に必要な体験と経験の場を用意することができたとともに、たくさんの人との交流も図ることができた。子どもの遊びや活動に制限が生じる事態の中でも工夫して事業を実施することができ、子どもたちの心身のケアにつなげることができた。 		

④ 青年期事業

事業名	実施時期	主催団体	事業概要
高校生ボランティアサークルひまわり	通年	教育委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・町内高校生及び津別高校生を対象に自主事業の企画運営、地域参画などから経験と学びを得る事業 ・メンバー9名 ・定例会7回、自主事業4回、研修1回、社会教育事業3回
青年活動プロジェクト and	通年	教育委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・町内の異業種の青年たちが集い、交流を深め、地域参画し、町内の青年たちの居場所とまちづくりに寄与する事業 ・メンバー20名 ・定例会8回、自主事業1回、内部研修交流2回
青少年海外研修派遣事業	中止	津別町海外研修実行委員会	※新型コロナウイルス感染拡大防止のため
成果と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・高校生はコロナ禍において制限はあるものの、実施できることを協議検討し、工夫しながら少しずつ活動ができるようになった。自分たちで考え、実施した事業により達成感ややりがいに繋がっている。 ・青年団体は職業柄、活動への参加が難しい人も多く、事業の組み立てに苦慮している。活動ができずモチベーションの低下にもつながっている。他事業との連携など活動への参画とやりがいを見つける必要がある。 		

⑤ 成年期事業

事業名	実施時期	主催団体	事業概要
社会教育講座	通年	教育委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・町民の生活文化を高める事業 ・「フクシマ発」講師：劇団風の子東北 澤田修氏 (寿大学連携講座) 一般7名 ・「コロナの時代からその先へ」講師：池上彰氏 高校生以上一般成人132名 ・「二胡コンサート」講師：福本ゆめ氏 小学生以上一般成人31名

事業名	実施時期	主催団体	事業概要
高齢者大学 (寿大学) 講座	通 年	教育委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者が持っている能力や経験を活かしながら、現代社会に対応する生活課題の学習、研修とクラブ活動を通して、社会参加の拡充を図る事業 ・全16講座、学生52名 延べ519名参加
社会教育人材バンク「まなび～ぷる」	中 止	教育委員会	※新型コロナウイルス感染拡大防止のため
成果と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・集い、共に体験し、共に学びあうことの大切さを感じながら、日常の中に多様な学びと刺激を提供することができた。 ・町民のニーズを捉え、さらなる学びを広げ、活動の活性化につながる講座を展開する。 		

⑥スポーツ推進委員研修事業

事業名	実施時期	主催団体	事業概要
北見・網走ブロック スポーツ推進委員研 修会	R3.12.4	北見・網走ブ ロックスポ ーツ推進委 員連絡協議 会	<ul style="list-style-type: none"> ・講演「世界に羽ばたくジュニアアスリート（金の卵）の育てから～トレーナーの視点から」講師：メディカルフィットネス（株）PHYSIT 代表取締役 大森達也氏
オホーツク管内社会 体育振興セミナー	R3.10.30	管内スポ ーツ推進委 員連絡協議 会	<ul style="list-style-type: none"> ・功労者表彰 ・講演「レバンガ北海道栄養サポートの実践から考えるスポーツ栄養について」講師：札幌保健医療大学保健医療学部栄養学科助教授 村尾咲音氏
成果と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・体づくりに関する内容から現代の考え方やアスリートの現状を学ぶことができた。 		

⑦各種大会事業

事業名	実施時期	主催団体	事業概要
紅葉マラソン大会	R3.10.3	つべつ紅葉 マラソン大 会実行委員 会	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツを通じた友好の絆を深め、健康の増進と体力の向上を図ることを目的とした事業 ・特別大会として町民限定、10k、5k、3kのみ、表彰とカレーライスの提供なしで実施 ・135名参加

事業名	実施時期	主催団体	事業概要
スケートイベント	R4. 2. 5	教育委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・自然環境を生かした冬季スポーツに親しみ、町民相互の交流を図るとともに、健康促進に対する意識の高揚を図る事業 ・講師：藤村祥子氏（美幌町） ・スケート体験会 ・チーム対抗リレー ・レクリエーション「旗とり競争」 ・町民42名
スキーイベント	中止	教育委員会	※新型コロナウイルス感染拡大防止のため
成果と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ対策として町民限定に縮小して実施した。 ・津別町の自然環境を活用して、四季を感じながらスポーツに親しみ、町民相互の交流とリフレッシュの機会となった。 		

⑧ スポーツ教室・講習会事業

事業名	実施時期	主催団体	事業概要
少年少女水泳教室	R3. 7. 27～30	教育委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・四季に応じた各種スポーツを通して、少年期に適した運動を行い、体を活発に動かすことの必要性和スポーツの生活化を図る事業 ・小学生16名参加 延べ58名参加
少年少女体力測定会	R3. 5. 15 R3. 10. 16	教育委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・体力増進度チェックとトレーニングの動機付けを図る事業 ・小学生77名参加
少年少女スケート教室	R4. 1. 13～14 R4. 1. 22	教育委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・四季に応じた各種スポーツを通して、少年期に適した運動を行い、体を活発に動かすことの必要性和スポーツの生活化を図る事業 ・小学生41名参加 延べ84名参加
ジュニア講習会「スキー教室」	中止	教育委員会	※新型コロナウイルス感染拡大防止のため
ジュニア講習会「バスケットボール教室」	R4. 2. 6	教育委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・有名選手を招聘し、あらゆるスポーツを通して体を動かす楽しさやきっかけづくりを目的に、心身の健康を図る事業 ・ボール遊び、バスケットボール ・講師：矢代直美氏（室蘭市） ・40名参加

事業名	実施時期	主催団体	事業概要
水中エアロビクス教室	R3.6.25～ 8.27 計7回	教育委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・水とスポーツに親しみながら体力づくりの生活化を図る ・専門指導者によるアクアビクス教室 ・講師：横尾早苗氏（北見市） ・一般成人16名、延べ64名参加
ゴールドスポーツ教室	通年	保健福祉課 教育委員会 (かるっち やつべつ)	<ul style="list-style-type: none"> ・筋力低下による転倒を予防する介護予防事業 ・65歳以上の高齢者を対象にストレッチ、筋力アップのためのトレーニング、レクゲーム等で体力維持を図る ・講師：石川朋美氏（札幌市） ・29名参加、延べ204名参加
トレーニンググループ指導・教室	通年	教育委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・健康増進のため体力づくりの習慣化を図る ・専門スタッフによるトレーニングルームでの指導 23回 延べ95名指導 ・専門スタッフによる各種教室の実施 14回 延べ103名参加 ・講師：スポーツプラザ進化塾 (北見市)
コーディネーショントレーニングオンデマンド配信	R4.2.14～ 3.13	教育委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・体を動かす楽しさを味わい、体力・運動能力の向上を図る。また、指導者や保護者に対しその必要性と重要性を伝え、意識の高揚を促す ・講師：NPO法人 JACOT ・視聴回数24回
健康運動教室から だりセット	R4.2.9～ 3.16 計5回	教育委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・健康増進のため体力づくりの習慣化を図る ・エアロビクス、ストレッチポールを使った体ほぐし、筋トレ ・講師：泉れい氏（北見市） ・一般成人20名、延べ79名参加
着衣水泳体験会	R3.7.13	教育委員会 水泳協会	<ul style="list-style-type: none"> ・着衣のまま水に入り、泳ぎ方などを学び、水難事故に備える ・35名参加

事業名	実施時期	主催団体	事業概要
スポーツ推進事業	中止	教育委員会	※新型コロナウイルス感染拡大防止のため
歩くスキーのつどい	R4.2.26	教育委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・冬季の運動不足解消を図る ・町民の森自然公園散策 ・一般成人9名参加 ・講師：太田博茂氏（北見市）
成果と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・屋内のスポーツも感染対策を講じながら工夫して実施することができた。健康への意識の高揚と心と体のバランスを整え、心身のリフレッシュにつなげることができた。 ・コロナによる生活の変化により、体力や筋力の低下、肥満、認知症などが懸念される。また、心の健康にも影響がでることから、運動の機会の創出や習慣化は重要な事項として、感染対策を講じながら内容を工夫して事業展開したい。 		

6 図書事業の推進

(1) 図書事業

① 図書事業

事業名	実施時期	主催団体	事業概要
読書チャレンジ (感想文・ポップ・画コンクール)	R3.7～R3.12	教育委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・読書離れが進んでいる現代社会で、本への関心を深め読書普及の推進を図る事業 ・町内の小中学生を対象に、読書感想文・ポップ・感想画を募集し、その中から優秀作品を表彰する ・小学生 39名応募 中学生 7名応募
移動図書配本事業	通年	教育委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・多くの本に触れる機会を増やし、感性豊かな心を育むことを目的とした事業 ・小中学校、認定こども園、児童館、ケアハウス、ののかに定期的に配本している
絵本ふれあい事業 ブックスタート事業	通年	教育委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児健診時に9ヶ月乳児の保護者に対し、絵本等を提供し、絵本を通じて親子の絆を深めることの大切さを伝える事業 ・親子 延べ22名参加
ブックセカンド事業	R4.3.8	教育委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・絵本を通して親子で本に親しみ、日常的な読書の推進につなげる事業 ・新1年生となる年長の子供たちに絵本を贈呈する ・年長 21名

事業名	実施時期	主催団体	事業概要
読書ノート	R3.12～R4.2	教育委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の読んだ本を記録し、読書への関心を深め、読書推進を図る事業 ・読んだ本の感想やおすすめポイントをノートに記録して提出する ・表彰し、図書室内にてベストランキング本の展示紹介 ・小学生 8名提出
読書推進事業	R3.8.9	教育委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・たくさん本を知り、触れ、五感を使っての活動を通して本に対する興味関心を高める事業 ・「夜のおはなし会」 ・小学生5名、保護者4名参加
読書推進活動 (特集・展示等)	通年	教育委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・四季や時事などに合わせ図書の展示や、家読(よむ日のススメ)を推進し、読書の日常化を図る事業 ・2か月ごとにテーマ展示 ・利用者のオススメ図書の募集、展示、貸出し 5件 ・貸出福袋 3冊入り15セット ・認知症に関する図書の展示、貸出し 33冊
図書室まつり	R3.12.5～12	教育委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・本に対する様残なふれあいを通して、本に親しむとともに参加者同士の交流を図る ・古本市、おはなし会、クイズ、クラフトづくり ・223名参加
学校巡回司書	通年	教育委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの読書活動の推進及び学校図書室の活性化を図る事業 ・小学校72回、中学校73回訪問
成果と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・事業を通して本と家族のふれあいや読書の楽しみをより知っていただく機会となった。 ・幼児から大人まで広く読書に親しめるよう図書の整備と充実を図り、余暇時間や学習に本を活用してもらえよう更なる工夫を重ねる。 		

7 芸術文化の推進

(1) 芸術文化事業

① 芸術文化事業

事業名	実施時期	主催団体	事業概要
第34回日本フィル こども芸術の広場	R4.3.23	津別町民芸術劇場 教育委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・小中学生及び町民に生のクラシック音楽の鑑賞機会を提供することにより、音楽を中心とした地域の振興を図る ・弦楽4重奏&フルート演奏会 ・小中学生205名、一般55名

事業名	実施時期	主催団体	事業概要
子ども芸術劇場	中止	教育委員会	※新型コロナウイルス感染拡大防止のため
青少年移動芸術劇場（中学校）	中止	教育委員会	※新型コロナウイルス感染拡大防止のため
青少年芸術劇場（小学校）	中止	教育委員会	※新型コロナウイルス感染拡大防止のため
芸術鑑賞	R3.10.10	津別町芸術鑑賞事業実行委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・町民に対し、優れた芸術鑑賞の機会を提供し、豊かな情操と涵養を図る ・つべつ寄席 三遊亭小遊三、桂米多朗、小泉ポロン、桂南太郎 中学生以上109名 (日本青少年文化センター)
第14回つべつリコーダーセミナー	R3.10.30～31	津別町民芸術劇場教育委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・管内リコーダー愛好家が参加し、講師から基礎から合奏法のレッスンを受け、音楽的な向上を目指すとともに音楽を愛する町民との絆も深まっている ・学校講習会 5校34名 ・セミナー 19名 ・コンサート 42名
成果と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども、小中学校の芸術鑑賞は、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う緊急事態宣言により、実施することができなかった。 ・疲弊しているコロナ禍において鑑賞の機会は、精神的な心に豊かさの安定を図り、興味関心を広げるきっかけとなった。 ・生の演奏等を肌で感じ、心を動かす体験の場となった。 		

8 児童館の推進

(1) 児童館運営

① 児童館一般利用状況

利用区分 利用状況	児童クラブ	一般児童利用	乳幼児・保護者 地域住民等
年間利用総児童数	11,136人	1,271人	0人
1日平均利用人数	38.0人	4.3人	0人
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・「あたたかく、安全で安心できる居場所」として、小中学生の健全で楽しい遊び場を提供し、子どもたちの心と身体の健やかな育成を図る 		
成果と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染防止のため、昨年同様に児童クラブ登録者とスクールバス利用者のみの受け入れとし、児童館一般利用者の自由来館の再開はできなかった。 ・感染状況を見ながら、再開のめどを検討していく。 		

9 放課後児童健全育成事業

(1) 放課後児童クラブの状況

①放課後児童クラブ登録状況（対象児童：小学生）

クラブ名 児童数	つべつ			備 考
学区児童数	175人			
登録児童数	94人			
加入割合	53.7%			

②放課後児童クラブ利用状況

クラブ名 利用状況	つべつ			備 考
年間利用総児童数	11,136人			
1日平均利用人数	38.0人			
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 保護者が仕事のため昼間、家にいない児童に対して放課後の適切な遊び及び生活の場を提供して、児童の健全育成を図る。 次世代を担う児童が、心豊かで健やかに育まれるよう、体験・学び・交流・遊び・生活の場を提供する。 			
成果と課題	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染防止のため、検温やアクリル板の設置、定期的な換気、消毒、利用予定事前調査をするなどの対策をし、生活指導と遊びの工夫を講じながら、クラブ運営し、子どもの居場所を確保することができた。また、保護者の理解を図ることができた。 保護者の就労による放課後児童クラブ登録者が年々増加しており、施設環境の整備と指導員の確保が課題となっている。 遊びに制限があるため、できるだけ工夫して子どもたちが活発に活動できる環境を整え、精神的ストレスの解消や体力の向上を図りたい。 			

③ 放課後子ども教室登録状況

コース名 登録 児童数	自然文化	チャレンジ キッズ	緑の少年団	農業体験・ だいち	アソビバ・ つべつ
津別小	「アソビバ・つべつ」に統合				52人
合計					52人
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 放課後や週末を利用し、子どもたちの居場所づくりの一環で様々な体験活動を提供する事業。津別町をより知ってもらうため、あらゆるフィールドを活用して年間約20回程度実施している。 子どもだけではなく親子で参加できる事業を地域で活動している団体ボランティアに指導をいただき、地域の方から学び・交流を深める事業を展開し、参加者も指導者も地域全体で楽しみ、郷土愛を高める。 				

成果と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 昨年同様に新型コロナウイルス感染防止のため、町内のお祭りや行事が中止となる中、子どもたちの活動・体験の場所、居場所として工夫しながらも多くの事業を展開することができた。 引き続き、児童クラブとも連携を図り、子どもの居場所や活動の場を広げたい。 ・ 地域の人や資源を通して津別のすばらしさ、学び、経験値を広げる機会となった。また、親子の体験は、親子のコミュニケーションの構築にもつなげることができた。 ・ 宿泊体験の事業は実施することができなかったが、子どもたちの人間性や社会性を高めるために重要な事業の為、工夫検討を進めたい。
-------	--

10 体育施設管理の推進

(1) 体育施設管理事業

① 体育施設営繕関係

(単位：千円)

工 事 名	事業費	工 事 概 要
温水プール外壁改修工事	29,788	経年劣化箇所の修繕、耐久性・対候性の改善対応
温水プール15mプール槽等改修工事	2,695	温水プール15m槽等の劣化に伴う改修工事
運動広場高圧受電設備改修工事	2,046	運動広場高圧受電設備の老朽化に伴う改修工事
グレステンスキー場側溝改修工事	3,245	グレステンスキー場の側溝劣化に伴う改修工事

② 体育施設管理委託関係

(単位：千円)

委 託 事 業	委託料額	委託先	委 託 概 要
多目的 運動公園管理	33,880	(株)津別町 振興公社	・ 芝生管理、除草、清掃、受付業務等
温水プール 施設管理	5,950	(株)津別町 振興公社	・ プールの清掃、施設管理、プール監視等
スケートリンク 造成・管理	1,645	津別総合管理センター	・ 造成業務、管理業務
ファミリー スキー場管理	2,090	(株)津別町 振興公社	・ ファミリースキー場の管理、リフトの運行、管理着雪ネットの設置、撤去及びロッジ周辺、リフトコースの除雪

委託事業	委託料額	委託先	委託概要
体育施設等管理	7,315	(株)津別町振興公社	・本岐地区多目的公園、達美野球場、町民ゲートボール場、修武館、農業者トレーニングセンター芝生管理、除草、清掃、整地等
トレーニングセンター管理	6,732	(株)津別町振興公社	・施設の管理業務（利用受付、電話、その他施設管理に関する業務）
グレステンスキー場管理	737	(株)津別町振興公社	・施設の利用、設備の維持管理等

11 スポーツ合宿実績

令和3年度 スポーツ合宿実績													
	チーム名	IN	OUT	選手	スタッフ	マネ	計	泊	日	泊延人	延人員	競技種目	宿泊先
1	玉越レーシング	7月22日	7月25日	19	2	0	21	3	4	63	84	グレステン	でてこい
2	旭川永嶺高校	7月29日	7月30日	16	2	4	22	1	2	22	44	バスケ	でてこい
3	中標津高校	7月29日	7月30日	10	2	1	13	1	2	13	26	バスケ	みいと
4	北見工業高校	8月8日	8月9日	14	3	4	21	1	2	21	42	ラグビー	nanmo-nanmo
5	帯広工業高校	8月8日	8月10日	16	3	4	23	2	3	46	69	ラグビー	でてこい
6	team14	10月1日	10月3日	16	1	0	17	2	3	34	51	グレステン	スポーツ交流館
7							0						
8							0						
9							0						
10							0						
11							0						
12							0						
13							0						
14							0						
15							0						
	計			チーム			117			199	316		
				(R2年度)11チーム			185人			305人	501人		

成果と課題	・昨年に引き道内外で合宿中止となったチームが多いが、今後新型コロナウイルス感染症の影響が落ち着いた際には、また多くのチームの受け入れを再開できるよう各種施設・設備等の準備を怠らないこととしたい。
-------	---

学 識 経 験 者 意 見

教育相談員 廣 部 純 栄

令和3年度教育行政方針及び点検評価報告書に基づき説明を受け、考え方や各事業等について感じた事を述べさせていただきます。

教育委員会議については、従前通り開催し、関係例規の改正、児童生徒の学力向上を図るための環境構築について議論され、津別町の教育行政方針に則り、実施に向けて取り組まれております。

学校教育では、長引く新型コロナウイルス感染症への対策を講じながら、日々の学校教育活動を続けていることが確認できました。

また、津別町は、支援が必要な児童生徒が多数いますが、学習補助員を小学校に7名、中学校に2名配置するなど、津別町独自の取組をしていることで、児童生徒の学習環境の向上はもちろんです。現場の教職員の負担軽減にもなっています。しかし、町独自の取り組みでは限界があるので、教職員の定数も含めた検討が必要と強く感じます。

国のGIGAスクール構想で導入した一人一台端末(iPad)の活用が小中学校共に少しずつではありますが進んでいます。端末には学習ドリルであるeライブラリアドバンスをインストールし、各授業での学習に活用されており、中学校では持ち帰りもスタートしています。今後は、iPadのさらなる有効活用を各学校で模索してほしいと考えています。

近年小学校にも3・4年生の外国語活動や5・6年生への教科の導入と英語授業の低年齢化が進んでいますが、このコロナ禍においても、津別町では小中学校へ語学指導助手を活用した授業が例年通り行なわれていました。平成30年7月から3年間在籍していた“ハラノ スコット クリストファー”氏に代わり、令和3年11月からは“デー アレックス マイケル”氏へ交代しましたが、人柄的に問題もなく従前と変わらない実践活動を行なっていると感じました。

また、津別町の特色を生かした独自事業である木育事業は、小中学校の授業計画に位置付けられており、愛林の町に生まれた子ども達が、木の文化に対する理解を深め、自然やふるさとを大切に作る心を養う体験活動として実施されており、次年度以降も継続して実施していただきたいと思っております。

教材・備品購入については、各学校の要望を踏まえて、町当局の理解のもと子ども達の教育環境が整備されております。

今後については、令和3年3月にスタートした学校運営協議会を生かし、家

庭や地域と連携・協働し子どもたちの健やかな成長のために鋭意努力されますよう期待します。

津別高等学校振興対策については、町内外の生徒確保を念頭に、生徒の夢や希望をかなえる魅力ある学校として津別高校の特色が定着しつつあります。公設民営塾は基礎基本の復習から就職試験、国公立等の大学受験対策まで、個々に応じた個別指導で着実にきており、現役の国公立大の合格者が生まれていることは成果といえます。

学校給食の推進では、児童生徒へのアンケートの実施や学校給食センター運営協議会との協議を踏まえるとともに、町内生産者と連携しオール地場産品の食材による給食を継続し、地場産品への理解を深める食育を充実させて下さい。また、老朽化した学校給食センター建設について様々な視点から課題整理・検討を行い、本町にとってより良い新学校給食センター整備計画が急がれます。

社会教育では、新型コロナウイルス感染症防止対策を行いながら、文化活動やスポーツ活動に参加できる場を提供し、幼少期から高齢期まで生涯にわたって学び続けることができるよう、各種講座の開設や充実に努められています。

図書事業の推進については、移動図書は、小中学校をはじめ、認定こども園、高齢者施設へも行われ、本に触れる良い機会になっています。今後も事業の継続と拡大を期待します。中央公民館図書室司書職員が定期的に小中学校を巡回することにより、学校図書室の環境整備や学校と連携して「よむ日のススメ」を家庭・地域に奨励してきました。読書の履歴を通帳に記録する「読書の記録」のシステムも、小中学生や一般の利用者と中央公民館図書室を結びつけるツールとして有効と考えます。今後は、新設される待望の図書館の開館準備を進め、できて良かった自分たちの図書館として親しまれることを期待します。

芸術文化の推進については、子ども向けの鑑賞事業は感染防止の観点から中止となりましたが、三遊亭小遊三氏の寄席は町民限定として実施したことは、町民の精神的な心の豊かさの安定を図り、興味関心を広げるきっかけとなりました。今後も町民の興味関心に耳を傾け魅力的で質の高い芸術・文化に触れる機会の創出を期待します。

児童館の推進及び放課後児童健全育成事業については、コロナ禍において、児童クラブ利用登録者のみの受け入れ制限を行いながら運営がなされました。引き続き、感染対策を行いながら、異年齢で遊びを通じた健全育成活動を継続することにご尽力いただきますようお願いいたします。